

ご閲覧ください。

新潟県生産性本部会報 発行:新潟県生産性本部 会長 森 邦雄

No.6 秋号

2021 / 10

NPC NEWS

明日に向かって



事務局だより

公開研修を開催しています! コロナ禍でも皆様に安心して受講していただけるよう努めていますので、是非ご参加をお願いいたします。

後期スケジュール

<1日コース>

- ・10月 6日 接遇の心得とマナー ～人の心に処するチカラを磨く～ 講師: 株式会社マナーズ 山田 節子 氏
- ・10月 21日 簿記経験のない方でも理解できる決算書の読み方・活かし方 講師: パートナースコンサルティング 江部 誠一 氏
- ・11月 2日 わかりやすい! 説得力がある! 表現力向上セミナー(文書作成、説明するチカラの向上) 講師: 日本生産性本部 コンサルタント 栗林 裕也 氏

<半日コース>

- ・11月 11日 無駄を省くスマートコミュニケーション術 講師: 菊野 麻子 氏 (元 NST アウンサー)
- ・11月 18日 With コロナ時代のサバイバーになる! ～コンプライアンスとデジタルトランスフォーメーション～ 講師: IPS コンサルティング 代表 赤塚 浩一 氏

新潟県生産性本部では、全コース修了証を授与させていただいております。また、助成金の申請等で必要な書類についても可能な限り対応させていただきます。今般の新型コロナウイルスの影響にともなう雇用調整助成金の特例措置の拡充・緩和により、接遇・マナー研修や半日研修・半日就業 も助成金対象となっております。

★組織内研修のご提案いたします! オンライン開催や対面参加&オンライン参加の併用研修実績あり!! まずはお相談ください(*^▽^*)

また、11月17日 生産性向上支援訓練セミナー「管理者のための問題解決力向上」を開催いたします。

講師: (公財)日本生産性本部 主任経営コンサルタント 黒田 和光 氏
非常に参加しやすい価格設定となっております。詳しくは、チラシをご覧ください。

contents

P1 事務局だより

P2-P3 第6回 リレーエッセイ 『 魅力ある、力ある企業は身近にある! 』

高崎経済大学 経済学部 教授 清水 さゆり

P4 会員紹介 UA ゼンセン 新潟県支部

(表紙写真: 秋の田園風景・角田、弥彦 関谷政友 撮影)



新潟市中央区新光町7番地2 新潟県商工会館4階 ※新潟県庁近く

電話 025-290-7127 FAX 025-290-7821

NIIGATA-KEN PRODUCTIVITY CENTER

ホームページQRコード

<https://www.n-seisanseihonbu.com>



■ 第 6 回 エッセイ

『 魅力ある、力ある企業は身近にある！ 』

高崎経済大学 経済学部 教授 清水 さゆり

2021 年版『中小企業白書』によると、日本の中小企業数は、製造業で 99.5%、その他の業種でも同様の割合になっている。付加価値額でも、全製造業中、中小製造業で 47.5%を占めており、通念のごとく、中小企業が日本経済とその発展を下支えしていることは間違いない。

従来、経営学とりわけ国際経営の分野では、大企業が主な研究対象となってきた。私自身も海外に拠点をもつ多国籍企業を対象として研究人生をスタートしたが、博士課程に進んだ頃からはさらに、中小企業に大変関心をもつようになった。海外に積極的に打って出ている中小企業や、国内にとどまりながら、国内市場のニーズへの対応や独自性を高度に追求している中小企業の経営者や、事業に責任をもつ方々にお話を伺う機会が多くなった。そうした中で知り合った企業のひとつである、蔵前産業の Explo 事業部がとても興味深い。

昭和 44 年に設立した蔵前産業は、機械装置部品や自動車部品装置、医療機器部品等の機械加工が主な事業であった。しかし、取引先の海外進出等を契機に受注が減少していった。新たな事業を模索する中で、工具の寿命を管理したり、切削条件を最適化するための振動診断機や紙容器事業をスタートさせた。紙容器事業は、本業の金属加工事業で蓄積されたプレス技術や金型設計・加工技術を応用したものだ。1 枚の紙から深さ 50 ミリ以上（最大 70 ミリ）の紙容器を、深絞りで作成できるのも同社のつよみである。診断機、紙容器事業を担当している Explo 事業部では、金型の設計から加工、成形機械の調整から紙容器の製造、そして販路開拓から製品発送まで行っている。しかも、そのすべてを Explo 事業部長の大原氏が担っている。

さて、30 年ほど前から、企業の成長のためには、知の探索（exploration）、つまり、新たな事業、技術を追求・開発することと、知の活用・深化（exploitation）、つまり、既存の事業、技術を深耕することが重要であるといわれてきたが、「両利きの経営」が近年注目されている。両利きの経営とは、著者のオリリー氏によると「成熟した企業が持つ資産やスキルを活用しながら競争力を失いつつある既存事業を継続し、新規事業もうまく成長させるためのやり方」（日経ビジネス、2020 年 3 月 23 日号）である。知の探索と知の深化をいかに高次元でバランスをとるかがポイントである。

イノベーションのジレンマでは、既存事業と新規事業は分離してマネジメントすることが推奨されていたが、両利きの経営では、新たな事業を展開するためには、仕事のやり方や姿勢といった組織文化（行動様式や規範）は既存の事業に影響を受けず、新たなものであるべきであるものの、資金や人材、技術、ノウハウなどの資源は共有することが重要だとしている。

上述した Explo 事業部は、既存の金属加工事業とは分離して、部長の大原氏が 1 人事業部（長）として文字通り、生み、育ててきた。これまでのところ、取引先の注文を受けて、オリジナルの紙容器を企画し、量産する一貫生産体制を構築する一方で、まゆ玉型容器が 2017 年度のグッドデザイン賞を受賞するなど、「自社製品をつくる」という成果をえている。

既存事業とは一線を画して、大原氏に大幅に権限を委譲することによって、Explo 事業部の成長がもたらされたと考えられよう。しかし、もう一段の成長を遂げるには、一方で新規事業におけるビジネスプロセスと行動様式（組織文化）の自律性をもたせ、他方で、本業に蓄積されている人材や技術、ノウハウなどの資源と新規事業である Explo 事業部の資源とを融合させることがキーとなるだろう。

ともあれ、経営資源に制約があるとされる中小企業にあっても、既存事業を存続させながら、新規事業を生み、育てることができるというのも事実である。そして、そこに希望が見いだせるのではないかと。

最後に余談であるが、Explo 事業部の由来が Exploit であるということも興味深い。



2017 年度グッドデザイン賞受賞の Explo 事業部・紙うつわ



絞り容器

清水 さゆり Sayuri Shimizu



「人間万事塞翁が馬」が座右の銘です。思うようにいかないと思うことも、実はそれが「わたしにとって望ましいことだったんだ」という経験が多くあります。

コロナ禍にあって、そのような気持ちになるのは難しいかもしれませんが、わたしはこの言葉を忘れないようにしています。

研究分野 国際ビジネス論、多国籍企業論、国際経営論、中堅・中小企業研究、経営戦略論

学 位 修士(商学)

1998.3 高崎経済大学経済学部卒業

2000.3 早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了

2009.3 早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得満期退学

2009.4 早稲田大学商学大学院 助教

2010.4 中央学院大学商学部 専任講師

2012.4 高崎経済大学経済学部 准教授を経て、2017.4 高崎経済大学経済学部 教授

書 籍

- ・「中小企業の海外展開—外部資源の活用と海外拠点の成長」『日本社会に生きる中小企業』中央経済社 2018
- ・「新興国企業の成長とグローバル化：タイ・ビバレッジ社」『理論とケースで学ぶ国際ビジネス 第4版』同文館出版 2018
- ・「中小企業の海外展開に関する考察：経営資源の制約と外部資源の活用」『戦略研究 20』2017
- ・「グローバル化に対する中小企業の事業展開と地域の対応」『自由貿易下における農業・農村の再生』日本経済評論社 2016
- ・「多国籍企業のマネジメントとソーシャル・キャピタル」『ソーシャル・キャピタル論の探究』日本経済評論社 2011
- ・「中堅企業の企業成長・存続と経営的特性—テイボーの事例」『産業経営』早稲田大学産業経営研究所、40号、2010
- ・「技術へのこだわりがグローバル化を加速する—ユニコンの事例—」『グローバル企業の市場創造』中央経済社、2008

所属学会 国際ビジネス研究学会、経営戦略学会、経営行動研究学会、日本貿易学会、日本経営学会 等

NPC Member Introduction No.6

UAゼンセン 新潟県支部

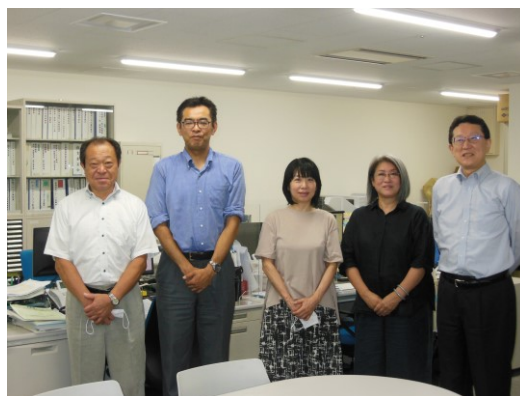


新潟県支部長 砂長 勉

設立 2012年(平成24年)11月5日
 住所 新潟県新潟市中央区万代 1-3-30
 電話 025-278-7196
 H P <https://uazensen.jp/branch/新潟県支部/>

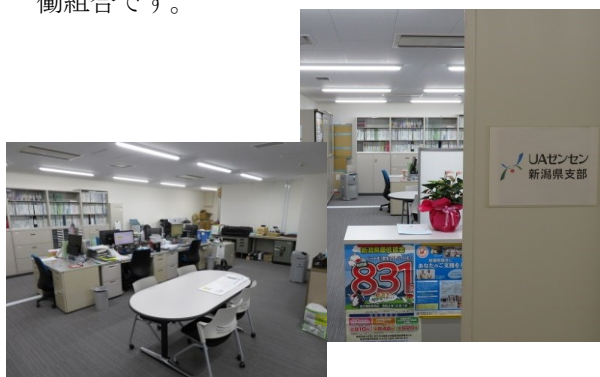
UA ゼンセン
新潟県支部さまに

Q&A



Q1 UA ゼンセンとはどのような組織か教えてください!

A UA ゼンセンは、繊維・衣料、医療・化粧品、化学・エネルギー、窯業・建材、食品、流通、印刷、レジャー・サービス、福祉・医療、派遣・業務請負など、国民生活に関する多様な労働者、181万人で構成される日本最大の産業別労働組合です。



【新事務所 執務室】

Q2 どのような企業の労働組合が加盟しているのか教えてください!

A 新潟県内の企業で言えば、クラレ、有沢製作所、水澤化学、栃尾繊維、ポラテクノ、三陽工業、田辺工業、コメリ、原信、三越伊勢丹、全丸大、ウオロク、キュービット、アークランドグループ、イオンリテール、山下家具店、清水フードセンター、北越ケーズ、立川総合病院、MGCアドバンス、岩塚製菓、亀田製菓、雪国まいたけ、堀川、アジカル、新潟中央運送、青山信愛会、桑名病院、河渡病院、南浜病院、松浜病院等々、一部の紹介になりますが、4万人の仲間の組合員が加盟しています。

Q3 UA ゼンセンの運動の基本を教えてください!

A UA ゼンセンの運動の原点は、働く者すべてが人間らしく、心豊かに生きていくことができる社会を築き上げることにあります。「自由にして民主的な労働運動」、労働者の労働条件改善や生活の向上を労働組合の基本目的とする「労働組合主義」を継承しつつ、21世紀に対応した民主的労働運動を推進します。

UA ゼンセンには、多くの業種、多様な働き方の組合員がいます。こうしたすべての働く人達が公正なワークルールの下で安心して働き、生活できる社会、そしてそのためにも健全で持続可能な産業・経済社会の発展を目指して行動しています。

Q4 代表者様からメッセージをお願いします!

A 新潟県支部は、組合員の皆さんだけでなく働くもののすべての立場をしっかりと支える為、利便性を良くする為に、この度新潟市内中心部万代エリアへ事務所を移転いたしました。

UAゼンセンは47都道府県にこのような事務所を配置し専従者を置き、中小労働組合や職場分散型の加盟組合にきめ細かい支援や地域活動を行っています。

働く皆さんと企業の皆さんは共に多くの困難や課題を抱えています。その課題を解決するために労働組合を結成し、労使一体となって企業活動を前進させましょう。



【事務所移転でお祝いのお花を頂きました】

この会報を通して、会員の皆様をご紹介させていただきます。企業団体様のPRの場としてご活用いただけると幸いです。このたび、ご協力いただきましたUAゼンセン新潟県支部様 ありがとうございます。

新潟県生産性本部では、会員を募集しています。お気軽にお問合せください。

制作・発行 新潟県生産性本部 会長 森 邦雄

編集等担当 関谷・長谷川 mail: info@n-seisanseihonbu.com